

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C60194-1</b>	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 01	0 全体			ed	ページ数が多いので、今後分冊にすることを考えると良い。	今後、分冊にすることを検討する。	このままでお願いします。 用語規格としては、分冊は不適切と考えます
渋谷隆 02	73	3		ed	CAD、CMOS、CAM、SMT など英字略語が多く使われている。	箇条 3 を用語、定義及び略語とし、3.1 を用語及び定義、3.1～3.22 を 3.1.1～3.1.22 とし、3.2 を略語として追加する。  対応国際規格の次回改訂時に日本から提案をお願いします。	このままでお願いします。 対応国際規格通りです。  用語規格のため、略語の箇条は不要と考えます。なお、必要に応じ full term を併記することの提案を検討します。
渋谷隆 03	74	3		ed	関連する JIS で用いる用語及び定義もこの JIS の定義に従うことが想定される。  関連する全ての JIS では、用語及び定義にこの規格の用語を引用していることを明記していますか？	例えば、C62137 規格群、C5402 規格群などに適用できることを記載する。	このままでお願いします。  具体的な規格番号などの記載はこの規格の引用を限定することになる可能性があり、避けたいと思います。  この規格の対応国際規格 IEC 60194-1 の発行が 2021 年のため、2 件の IEC 規格と 1 件の JIS の引用にとどまっています。IEC 60194-1 の前身の IEC 60194 は 39 件の IEC 規格、26 件の JIS に引用されています。これらの規格の改正時に、大部分が JIS C 60194-1 を引用することになると考えます。
渋谷隆 04	78 422 901	3.1 3.2 3.3		ed	A、B などの違いが分からない。	違いが分かる名称に変更する。対応国際規格とおりだとしても、副題などを付ける。	このままでお願いします。 対応国際規格通りです。  A, B, などは、対応国際規格のアルファベット順での記

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C60194-1</b>	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
	1701	3.4					載の区分です。75行目に注記で補足しております。
	2067	3.5					
	2351	3.6					
	2747	3.7					
	2853	3.8					
	3058	3.9					
	3241	3.10					
	3263	3.11					
	3312	3.12					
	3563	3.13					
	3847	3.14					
	3965	3.15					
	4099	3.16					
	4694	3.17					
	4724	3.18					
	5030	3.19					
	5880	3.20					
	6278	3.21					
	6342	3.22					
	6504	3.23					
	6677	3.24					
	6686	3.25					
	6690	3.26					
渋谷 隆 05	91	3.1.3		ed	括弧 ( ) は、ない場合でも意味が通じる参考表現に用いる。	又は百分率の括弧を外す。	修正案に同意します。 括弧を外し「～の比率又は

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C60194-1</b>	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							百分率」とする。
渋谷隆 06	102 216 277 297 323 342 348 など	3.1.6 3.1.36 3.1.49 3.1.54 3.1.61 3.1.66 3.1.67 など		ed	括弧 ( ) は、ない場合でも意味が通じる参考表現に用いる。	図 x 参照は、注釈に移動する。	修正案に同意します。  (図 x 参照) は、全て注釈に移動します。
渋谷隆 07	173	3.1.23		ed	接着力の定義が接着であるのは間違いではないか？	用語を接着に変更する。  力であれば、定義の末尾を力にする。	修正案に同意します。  “～生じる接合力”とします
渋谷隆 08	185	3.1.27		ed	[ ] 内はない場合でも意味が通じる参考表現に用いる。	[ ] を注釈に移動する。	修正案に同意します。  注釈 1 導電性材料は、アディティブ法で生成又はサブトラクティブ法での貼付け金属はく（箔）である。
渋谷隆 09	190 323 367 412 453 466 628 など	3.1.28 3.1.61 3.1.72 3.1.84 3.2.8 3.2.12 3.2.54 など		ed	“こと”止めしない。	“こと”を“行為”、“作業”、“現象”などに変更する。	このままでお願いします。  規定文の末尾では、“～すること。”としないが、用語の定義は、許容されている。  他の JIS でも採用されている例がある。  なお、定義を再確認したところ、3.1.61（エリアアレイ）だけ、次のように変更することにします。  「チップの内部表面領域の

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C60194-1</b>	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							縁及び追加のパッドが接続に関するボンディングパターン」
渋谷隆 10	193 196	3.1.29 3.1.30		ed	基材だと意味が広い。	積層板に変更する。	修正案に同意します。 3.1.29: 基材にめっき用触媒を含む, その後の処理によって微細な多孔質表面を得るポリマーを薄く塗布した積層板 3.1.30: 基材にめっき用触媒を含まない, その後の処理によって微細な多孔質表面を得るポリマーを薄く塗布した積層板
渋谷隆 11	205	3.1.33		ed	括弧 ( ) は、ない場合でも意味が通じる参考表現に用いる。	注釈に移動する。	修正案に同意します。 「注釈 2 はんだ付け性などの特性」
渋谷隆 12	226 232 237 242 249 254	3.1.39 3.1.40 3.1.41 3.1.42 3.1.43 3.1.44		ed	すべての用語が“はんだ合金”である。	たとえば、すずビスマスはんだ合金などに変更する。 混乱が生じなければよいです。	このままでお願いします。 同じ用語を<>の適用領域で区分しています。 JIS Z 8301 に基づく記載のため、混乱することはないと考えます。
渋谷隆 13	270	3.1.47		te	酸化アルミニウムだと Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> なども含む。	アルミナ (Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> ) に変更する。	「酸化アルミニウム (Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> )」に変更致します。 Wikipedia でも説明していますが、酸化アルミニウムは、一価の酸化アルミニウム [1] Al <sub>2</sub> O、二価の酸化

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							アルミニウム [2] ALO、三価の酸化アルミニウム [3] AL <sub>2</sub> O <sub>3</sub> があり、 [1] [2] は特殊なものであり、 [3] が通常知られている酸化アルミニウムなので「アルミナ」への修正は必要ないと思います。また、「アルミナ」は用語「アルミナ基板」とダブるので使用しないほうがよいと思います。
渋谷隆 14	312	3.1.58		ed	単位がない。	注釈に単位 (sr) を記載する。	定義を次のように変更します。  「光学系の画像空間における視野の対辺角度」  視野角ですが、立体角 (st) ではなく平面角 (°) で表します。
渋谷隆 15	327	3.1.62		ed	用語に英字の略語が含まれている。	極力日本語を使う。  TAB を定義すると良い。	国内でも用語 TAB が広く使われています。適切な日本語としての用語はありません。TAB は、3.20.7 で定義しています。  TAB の定義を参照するため次に変更します。  「～形成する TAB (3.20.7)」
渋谷隆 16	337	3.1.65		ed	人工頭脳は能力でなく、機械ではないか。	能力をもつ装置などに変更する。	修正案に同意します。  「通常は人間の知性に関連する機能を実行する能力をもつ装置」

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C60194-1</b>	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 17	367	3.1.72		ed	実装は行為であり、実装基板は基板（物）である。	定義を2つに分ける。	用語「実装基板」を「基板実装」に変更します。
渋谷隆 18	389	3.1.77		ed	括弧（）は、ない場合でも意味が通じる参考表現に用いる。	括弧内を例に移動する。	修正案に同意します。 「例 単位面積 1 cm <sup>2</sup> 」
渋谷隆 19	405	3.1.82		ed	CAD は略語である。	Computer aided design を記載する。	修正案に同意します。 CAD (computer aided design) とします。
渋谷隆 20	439	3.2.4	図 11	ed	“裏面アクセス”が何を指しているかが分からない。	不要なら削除する。必要なら、注記で説明する。	「裏面アクセス」を「裏面のランド」に変更します。
渋谷隆 21	578	3.2.41		ed	CMOS の full term がない。	Full term を記載する。	修正案に同意します。 CMOS (complementary metal oxide semiconductor) とします。
渋谷隆 22	578	3.2.41		ed	製造技術ではなく、トランジスタそのものではないか。 この製造技術で製造したトランジスタそのものの定義がありませんがよいですか？	“製造技術”を削除する。	このままでお願いします。 トランジスタの製造技術ですが、トランジスタの分類にも使われています。 実装技術関連の用語ですので、トランジスタ自体の定義は、この規格の対象外と考えます。
渋谷隆 23	636	3.2.56		ed	括弧を定義に用いない。	“例”とする。	修正案に同意します。 「例 基板製造における樹脂の混合。」
渋谷隆 24	753	3.2.89		ed	定義が偏差であれば、単位は mm か。 それとも現象を示すのか。	距離であれば、どの距離を示すかを図で表示する。	次のように変更します。 ”～偏差がある状態”
渋谷	753	3.2.89		ed	定義に括弧は用いない。	注釈に移動する。	修正案に同意します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C60194-1</b>	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
隆 25							「注釈 1 製品が長方形の場合、その四つの角は同じ平面にある。 注釈 2 図 18 及びねじれ角... <b>(3.8.21)</b> ...参照」
渋谷 隆 26	763	3.2.91		ed	“と、との“の用法がおかしい。 シールド編線 (A) と被シールドケーブル軸 (B) のなす角ですか？	A 又は B に変更する。	このままでお願いします。 「A と B との」の用法です。 より明確にするため。次のように変更します。 シールド編線と被シールドケーブル軸とがなす角度の小さい方
渋谷 隆 27	836	3.2.110		ed	定義に英字略語が含まれている。	Full term を記載する。	修正案に同意します。 (VPR : vapour phase reflow) とします。
石井 1	842, 847	3.2.112 3.2.113		eg	847には<ダイ>とあるので、<ダイ>に関するバンプと分かりますが、842にはそのような種別を示す言葉は付かないのでしょうか。		このままでお願いします。 3.2.112 バンプは、一般的な定義で、3.2.113 バンプは、適用領域を<ダイ>に限定した定義になります。
石井 2	880, 884	3.2.123 3.2.124		eg	同じ語が記載されていますが、ベンチマークのように、その後に適用領域<>などは付かないのでしょうか。“wrap plating”が誤記であれば、代わりの適用領域を記載しないと 2 用語の使い分けが分かりません。		一つの用語で二つの定義があり、適用領域を限定できないため、次のように (1) (2) で用語を区別します。 3.2.123 バットめっき接続 <b>..(1)..</b> 3.2.124

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C60194-1</b>	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							バットめっき接続...(2)
渋谷隆 28	1178	3.3.74		ed	“測定方法によって測定した温度“ではないか。	再考願います。	次のように変更します。 「同じスペクトル分布をもつ放射エネルギーを発生する黒体の温度による、固体表面の温度」
藤井哲郎 1	2584	3.6.65		ed	「フラッシュオーバ」とある。2577行では「フラッシュ」と日本語表記しており、Typo ミスと思われる。	フラッシュオーバ	このままとします。 電気用語であり、JIS C 5101-1 などでも使用しています。
藤井哲郎 2	4562	3.16.125		ed	「露出していない」とある。typo ミスと思われる。	露出していない	修正いたします。
山田 1	4945	3.18.64	図 70	ed	図中の文字が一部不鮮明のような気がする。	文字の鮮明化。	不鮮明であることを確認いたしました。修正いたします。
山田 2	6645	3.23.39	図 75A	ed	図中の日本語が、他の図面に比べて小さい（フォント数が小さい）と感じる。	図面自体の拡大或いは文字フォントの増加。	ご指摘通り図面の文字が小さいので、図面全体を拡大いたします。
石井 3	6698	附属書 JA		Eg	「日本語索引」とありますが、アルファベットが出ています。これはそのままでも良いのでしょうか。	「索引」にしてはどうでしょうか。	「用語索引」に変更します。 日本語の用語（英語の略語を含む）の索引です。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C61760-2</b>	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	119	5.2.3		ed	要求事項のため、高度 12 km 未満を規定とするより、気圧 (19.3 kPa) を規定とするのが良い。	次のように修正する。 気圧は、19.3 kPa とする。この気圧は高度約 12 km に相当する。 対応国際規格の次回改訂時に日本から修正を提案願います。	このままでお願いします。 素案 ”最低気圧は、高度 12 km 未満に相当する気圧 (約 19.3 kPa) とする” のままです。 対応国際規格では、 Minimum air pressure: corresponding to an altitude of < 12 km (about 19,3 kPa). となっており、 KPa を直接規定しておらず、”約 19.3 kPa”は参考に近い情報です。 また、”高度 12 km 相当”ではなく、”12 km 未満”と明確に規定しています。 提案することを検討します。
渋谷隆 2	131	6		ed	“こと”止めは用いない。	“こと”を削除する。	修正案に同意します。 「総保管時間（製造業者及び使用者の保管時間の総計）は2年間以内、及び使用者の保管時間は受入後1年間以内を推奨する。」
渋谷隆 3	173	A.4	図 A.1	ed	図が二つあるので、subfigure の題名を付与する。 対応国際規格の明らかな間違いであると考えられる。	図が二つあるので、subfigure の題名を付与する。	修正案に同意します。 上図 " <b>a</b> ). 速度変化表示なし" 下図 " <b>b</b> ). 速度変化表示あり”
渋谷隆 4	213	参考文献		ed	本文中で示さない限り、[1]などの表記は不要である。	[1]などを削除する。	修正案に同意します。 [1]などの番号を削除します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C5101-1</b>	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 01	461	4.1.2		ed	量記号は、箇条 3 に、用語、定義、略語及び量記号として記載すべきである。	箇条 3 に移動する。  対応国際規格の次回改訂時に日本から提案をお願いします。	このままでお願いします。  対応国際規格では、箇条 3 の用語が多く、番号を 2 層（例：3.xx）として簡便にしておくほうがよいとの判断で、敢えて略語、記号は箇条 3 とは別に箇条 4 に記載しております。ISO/IEC Directives PART2 16.4 では「記号及び略語を用語及び定義と組み合わせてもよい」と規定しており、要求事項ではなく許可事項となっています。  箇条 3 と箇条 4 に分けて記載することは日本も支持しました。先の回答で申したとおり、ISO/IEC Directives PART2 16.4 では「記号及び略語を用語及び定義と組み合わせてもよい」と規定しており、要求事項ではなく許可事項となっています。箇条 3 に統合することは要求事項でも推奨事項でもありません。次回改訂時も現在と同じ構成のままでよいと考えます。
渋谷 隆 02	464	4.1.3		ed	量記号は、箇条 3 に、用語、定義、略語及び量記号として記載すべきである。	箇条 3 に移動する。  対応国際規格の次回改訂時に日本から提案をお願いします。	このままでお願いします。  対応国際規格では、箇条 3 の用語が多く、番号を 2 層（例：3.xx）として簡便にしておくほうがよいとの判

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C5101-1</b>	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							<p>断で、敢えて略語、記号は箇条 3 とは別に箇条 4 に記載しております。ISO/IEC Directives PART2 16.4 では「記号及び略語を用語及び定義と組み合わせてもよい」と規定しており、要求事項ではなく許可事項となっています。</p> <p>箇条 3 と箇条 4 に分けて記載することは日本も支持しました。先の回答で申したとおり、ISO/IEC Directives PART2 16.4 では「記号及び略語を用語及び定義と組み合わせてもよい」と規定しており、要求事項ではなく許可事項となっています。箇条 3 に統合することは要求事項でも推奨事項でもありません。次回改訂時も現在と同じ構成のままでもよいと考えます。</p>
渋谷 隆 03	468	4.2.1		ed	“参照”の表現はあいまい。	<p>“による”として規定表現に変更する。</p> <p>参照を規定でなく、参考で良いのであれば問題ありません。</p>	<p>このままでお願いします。</p> <p>対応国際規格では、"see also 4.2.2"となっており、現行版 2019 年からこの記載で統一しております。</p> <p>ご理解ありがとうございます。</p>
渋谷 隆 04	507	4.2.6		ed	括弧は省略しても意味が通じる場合に用いる。	括弧を外す。	このままでお願いします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
						参照を規定でなく、参考で良いのであれば問題ありません。必要に応じ、対応国際規格の PL 及びコンビナに意図を確認する必要があると思います。	対応国際規格では、"(see Figure 3)"となっており、要求事項の文の補足説明にあたるもので、現行版 2019 年からこの記載で統一しております。  ご理解ありがとうございます。
渋谷隆 05	554	5.2.3		ed	参照はあいまいのため、括弧を外す方が良い。	“表 1 による”に変更する。  参照を規定でなく、参考で良いのであれば問題ありません。必要に応じ、対応国際規格の PL 及びコンビナに意図を確認する必要があると思います。	このままでお願いします。  対応国際規格では、"as given in Table 1"となっており、要求事項の文の補足説明にあたるもので、現行版 2019 年からこの記載で統一しております。  ご理解ありがとうございます。
渋谷隆 06	684	6.1.6		ed	“参照“は規定表現と解釈されない可能性がある。括弧は参考情報である。	表 3 による。に変更する。  参照を規定でなく、参考で良いのであれば問題ありません。必要に応じ、対応国際規格の PL 及びコンビナに意図を確認する必要があると思います。	このままでお願いします。  対応国際規格では、“(see Table 3)”となっており、要求事項の文の補足説明にあたるもので、現行版 2019 年からこの記載で統一しております。  ご理解ありがとうございます。
渋谷隆 07	868	6.7.1.3.3		ed	“参照“は規定表現と解釈されない可能性がある。括弧は参考情報である。	図 9 による。に変更する。  参照を規定でなく、参考で良いのであれば問題ありません。必要に応じ、対応国際規格の PL 及び	このままでお願いします。  対応国際規格では、”(see Figure 9).”となっており、要求事項の文の補足説明に

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C5101-1</b>	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
						コンビナに意図を確認する必要があると思います。	あたるもので、現行版 2019 年からこの記載で統一しております。 ご理解ありがとうございます。
渋谷隆 08	1227	7.9		ed	下位規格ではあいまい。	規格番号を記載する。 業界として共通認識されているということでしょうか？	このままでお願いします。 対応国際規格の”relevant specification”は、特定の規格を指しておらず、下位規格（箇条 3 の第 1 段落の注記 ”品種別通則，ブランク個別規格又は個別規格（以下，下位規格という。）”を示しています。 現行の素案の記述は、過去の版でも JIS 利用者に混乱はないことから、共通認識されていると認識します。
渋谷隆 09	1278	8.2.7	表 6	ed	“-“の意味が不明。	注記を追加する。 対応国際規格の次回改訂時に日本から提案をお願いします。	このままでお願いします。 本試験規定は、本文中で、JIS C 60068-2-30 の Db に従うとしており、当然 JIS C 60068-2-30 の上位規格に当たる JIS C 60068-1 の規定に縛られるので、この表記法になっていて、文意から“-“が当該部品により異なるからそう表記されていると解釈されます。 旧版（1998 年,2010 年）現行（2019 年）の JIS でも“-“について注記は無く、JIS

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C5101-1</b>	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							利用者間で混乱が起きていません。 上記回答で申し上げた理由により、対応国際規格の改訂時に変更提案する必要はないと考えます。
渋谷隆 10	1389	8.8		ed	注よりは注記の方が適している。	注記に変更する。 対応国際規格の次回改訂時に、8.8.1 概要とし、以降の細分箇条を繰り下げる提案をお願いします。	このままでお願いします。 対応国際規格では注記ですが、ぶら下がり段落形式と認識されるため、注に変更しました。 この件は、TC40 国際議長に確認しており、ぶら下がり段落と認識されないように、国際議長から注への変更提案があり、それに従いました。 次回改訂時に提案することを検討します。
山田 1	697、698、700、701	6.2.2		ed	抵抗値 R1 及び R2、静電容量 C1、及びそれらを用いた式 $[R1 \times (CX + C1)]$ 、はイタリックにする必要があるのでは？	$R1 \rightarrow R1$ 、 $R2 \rightarrow R2$ 、 $C1 \rightarrow C1$ 、 $R1 \times (CX + C1) \rightarrow R1 \times (CX + C1)$ また、記号として CX は記述されているが、その値を示す CX が文書中に記載されていない。追記が必要ではないかと考える。	R1、R2、C1、CX は、図内では「名称」として記載していますので立体です。計算式では量記号になりますので、 $R1 \times (CX + C1)$ の斜体に修正致します。 また、次の文章も矢印の文章に修正致します。 「コンデンサの静電容量 C1 は、供試コンデンサの静電容量の 10 倍以上とする。」 → 「コンデンサ C1

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C5101-1</b>	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							の静電容量は、供試コンデンサ C <sub>x</sub> の静電容量の 10 倍以上とする。」
渋谷隆 11	1423	8.9.4		ed	標準大気条件は、JISC60068-1 に複数規定されている。	標準大気条件は、JISC60068-1 の箇条を指定する。	このままでお願いします。  8.9.4 の規定の「測定及び試験に用いる標準大気条件」は <b>5.2.1</b> (測定及び試験に用いる標準大気条件) において規定されており、多数の他の細分箇条でも「測定及び試験に用いる標準大気条件」について引用規格の記載は省略しています。
山田 2	1860、 1861、 1870	Q.5.1 Q.5.3		ed	最終国際規格案 (FDIS) の FDIS はボールドではないでしょうか？	最終国際規格案 (FDIS) → 最終国際規格案 ( <b>FDIS</b> )	Z8301 には記載がないので、ボールドではなく普通の字体で記載しています。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C5101-2</b>	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	273	5.2.3.2		ed	10 <sup>-3</sup> (ミリ) を用いるのが良い。	1×10 <sup>-3</sup> とする。	変更案に同意します。 対応国際規格通りの記載ではありませんが「1×10 <sup>-3</sup> 」に変更します。
	282	5.2.3.4					
渋谷 隆 2	297	5.2.4.4		ed	単に“ロット”、“出荷対象ロット”及び“検査ロット”が使われている。  JIS 使用者が、勝手に材料ロット、プロセスロット、組立ロットと解釈しても良いとの見解ですか？	単に“ロット”は“製造ロット”、“材料ロット”などの指定をする方が良い。	このままでお願いします。 対応国際規格通りです。 “ロット”の表現の意味が違います。 この規格に登場する出荷対象ロットは、完成品を意味しています。 また、検査ロットについては、必ずしも完成品ではないにしても、コンデンサの製造ロットであることは、記載内容から明確で、対応国際規格の通りの表現で問題ないと考えています。
	554	8.3					
	602	8.5.1					
	など	など					
渋谷 隆 3	308	5.2.4.5	表 4	ed	平均値である。	表の名称に平均値を追加する。  対応国際規格の次回改訂時に日本から修正を提案願います。	このままでお願いします。 対応国際規格通りです。 提案について検討させていただきます。
渋谷 隆 4	368	5.7.2		ed	他では、(A±B) 単位としている。	(6±1) mm とする。	変更案に同意します。  この規格内の他の (A±B) 様式に従い、(6±1) mm と致します。
	383	5.8.3					
	399	5.9.3					
渋谷 隆 5	394	5.9.3		ed	表現	“いずれかの厳しさを適用する又は規定する“に変更する。	次のように修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C5101-2</b>	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							「～いずれの厳しさを適用するかを規定する。」
渋谷隆 6	500	6.2		ed	IEC 60417:2002 DB, Graphical symbols for use on equipment - 12-month subscription to regularly updated online database comprising all graphical symbols published in IEC 60417	“-5031”が規格番号でないことがわかる表現とする。	変更案に同意します。 「～IEC 60417 の 5031～」
渋谷隆 7	659	JA	e)列	ed	JIS の“改正”に対し、IEC では“改訂”を用いる。	“改正”を“改訂”に変更する。	変更案に同意します。 “改訂”に変更致します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C5101-25</b>	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	140 to 145	規格名称		ed	和名に括弧があるが、米語名には括弧がない。括弧はなくても意味が通じるように用いる。	和名の括弧を外し、“電子機器用コンデンサ-第 25 部：品種別通則—表面実装用固定導電性高分子を含むアルミニウム固体電解コンデンサ”とする。  対応国際規格と合わないため再考願います。番号の変更がなければ混乱は生じないはずです。	現行 JIS の和名のままであり、このままをお願いします。  Z8301 の箇条 11 名称 (P.24-25) では、“規格の名称は、規格の適用範囲の中で網羅している主題を明確かつ簡潔に表すものである。”と記載があり、また、例 3 には、カッコを用いた規格名称の例があります。  分科会では、ご提案を頂きました修正案を含め直訳した記述では分かり易い簡素な表現が難しく、Z8301 にも従っており、現行名称を変更する必要はないという結論です。このままをお願いします。
渋谷隆 2	207 215	4.2.1 4.2.3		ed	括弧は省略しても意味が通じるように用いる。 ( <i>n</i> は整数) は省略できない。	“(×10 <sup><i>n</i></sup> ) から選定する。ここで <i>n</i> は整数とする。”に変更する。	変更案に同意します。  「～(×10 <sup><i>n</i></sup> ) から選定する。ここで <i>n</i> は整数とする。」
渋谷隆 3	279	5.6.2.2		ed	±2 % 以下では、≤-2 % の意味となる。	“以下”を“以内”に変更する。	変更案に同意します。  「～±2 % 以内とする。」
渋谷隆 4	305	5.6.5.2		ed	120 Hz±10 % の単位が統一されていない。	単位を統一する。	修正案に同意します。  他の箇所に合せ、“120 Hz ± 12 Hz”の記載とします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C5101-25</b>	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 5	386 387	5.13.3		ed	A 単位±B 単位 又は (A±B) 単位の表現が混在している。	表現を統一する。	A 単位±B 単位への統一で修正案に同意します。  ただし、相対湿度は Z8301 9.3.3 及び表 B.1 番号 13 に従い、“(93 ±3)%”の記載のままとします。
渋谷隆 6	492	6.2		ed	IEC 60417-5031 の“-5031”は規格番号ではない。	“-5031”が規格番号でないことがわかる表現とする。	修正案に同意します。  「～IEC 60417 の 5031～」
渋谷隆 7	550 557 601 など	8.3 8.4.1 8.5.1 など		ed	単なる“ロット”、“出荷対象ロット”及び“検査ロット”がある。  JIS の使用者が、勝手に材料ロット、プロセスロット、組立ロットなどを用いることを許容できるのでしょうか？	単なる“ロット”が“製造ロット”、“材料ロット”などが対象であるなら、説明を注記などで追加する。	このままをお願いします。  IEC に基づく記載であり、C 5101-1 関係項を参照し十分理解出来ます。また、製造ロット、材料ロットなどの表現が適切で十分なのか判断出来ません。  “ロット”、“出荷対象ロット”及び“検査ロット”は何れも完成品（コンデンサ）を指しており、それは 8.2, 8.3, 8.4.2, 8.5.1.1 などの記載から明らかです。よって、説明の注記などは不要と判断されますので、このままの記載をお願いします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	36 to 41	規格名称		ed	括弧は省略しても意味が通じるように用いる。	括弧を外す。 対応国際規格の次回改訂時に日本から修正提案をお願いします。	対応国際規格どおりの記載です。このままをお願いします。  対応国際規格の次回改訂までに修正提案するか IEC SC48B 国内委員会と検討します。
渋谷隆 2	71	4.2		ed	括弧の位置が誤解を与える。	“かん（嵌）合（ラッチング）及び／又はリリース機構（アンラッチング）“に変更する。  注記を追加することを検討願います。	対応国際規格どおりの記載です。このままをお願いします。  分科会では変更せずこのままで理解できると思っており、また IDT でもあり、今回はこのままということをお願いします。  対応国際規格の次回改訂までに修正提案するかを IEC SC48B 国内委員会と検討します。
渋谷隆 3	73 など	4.2 など		ed	電気コネクタの JIS では、製品規格はない。 個別と製品とは異なる。 括弧は省略しても意味が通じるように用いる。  規格は、ISO, IEC などの国際、国内、業界標準に対し用い、企業間の規定には、“仕様”を用いる。	“個別規格及び製品仕様“に変更する。  対応国際規格の次回改訂時に detail, product の違いを明確にするように日本から提案をお願いします。	このままをお願いします。  対応国際規格の detail product specification は、コネクタ JIS では個別製品規格としています。対応国際規格は detail (product) specification であり、個別（製品）規格にしています。  JIS C 5402-1:2022 の改正の時に同じ表現を使用しています。  対応国際規格の次回改訂までに修正提案するか IEC

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C5402-8-3</b>	プロジェクト:
-----	------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							SC48B 国内委員会と検討します。
渋谷隆 4	87 112	5.3 6		ed	括弧は省略しても意味が通じるように用いる。	(A 及び/又は) 及び (シーケンスで又は単独で) の括弧をはずす。 対応国際規格の次回改訂時に detail, product の違いを明確にするように日本から提案をお願いします。	対応国際規格どおりの記載です。このままをお願いします。 対応国際規格では、Test method (A and/or B) and test procedure (in sequence or independent) となっており、記載通りです。 対応国際規格の次回改訂時までに修正提案するか IEC SC48B 国内委員会と検討します。
渋谷隆 5	90 to 93	5.3		ed	これらを図 1 の記号説明に移動する方がわかりやすい。	記号説明に移動する。 対応国際規格の次回改訂時に日本から提案をお願いします。	対応国際規格どおりの記載です。このままをお願いします。 対応国際規格の次回改訂時までに修正提案するか IEC SC48B 国内委員会と検討します。
渋谷隆 6	106 114 115 118 120	5.5 6		ed	括弧は省略しても意味が通じるように用いる。	括弧を外す。 対応国際規格の次回改訂時に日本から提案をお願いします。	全てこのままをお願いします。 106 行目は、対応国際規格通りの記載にしています。 114, 115, 118, 120 行目の、(要求する場合) などの括弧書きは、古いものを除きコネクタ試験方法では統一した表現です。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C5402-8-3</b>	プロジェクト:
-----	------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							対応国際規格の次回改訂時までに修正提案するか IEC SC48B 国内委員会と検討します。
渋谷隆 7	117	6		ed	<p>“並びに“を用いる。                      加える力の方向                      加える力の速さ                      加えるトルク方向                      加えるトルク速さ                      を意味しているとおもいますが正しいでしょうか。</p>	<p>“，”を“並びに”に変更する。</p>	<p>対応国際規格どおりの記載です。このままをお願いします。</p> <p>対応国際規格に接続詞「and」は使われておらず、カンマを「並びに」に変えるのは違うのでは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加える力又はトルク</li> <li>・方向</li> <li>・加える速さ</li> </ul> <p>の3つを and でつなぐ形「A, B and C」です。                      次の様に変更します。                      「加える力又はトルク，加える力又はトルク方向及び加える速さ」</p>

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2023.6.9	規格番号: C60068-2-21	プロジェクト:
--------------	-------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	95	1		ed	SMD の full term がない。	SMD の full term を記載する。	このままでお願いします。 SMD については、電子部品用語として一般的です。
渋谷隆 2	158	4.6.1		ed	括弧は省略しても意味が通じるように用いる。	括弧を外す。	修正案に同意します。 ご提案通り、そのまま括弧を外します。
渋谷隆 3	265	5.6.2.3		ed	括弧は省略しても意味が通じるように用いる。	括弧を外し、事例として記載する。 対応国際規格の次回改訂時に日本から修正を提案願います。	このままでお願いします。 対応国際規格通りです。 提案について検討させていただきます。
渋谷隆 4	425	8.4.3		ed	数字と単位の間半角スペースを挿入する。	250 のあとに半角スペースを挿入する。	ご提案通り半角スペースを挿入します。 「250 μm」
渋谷隆 5	600	9.6.2.1	図 22	ed	D の±は上付き／下付き文字とする。	D の±は上付き／下付き文字とする。	修正案に同意します。 Z8301 の P.16 の 9.3.3 例 3 のように上付き／下付き文字に修正致します。
渋谷隆 6	600	9.6.2.1	図 22	ed	HV 及び D は要求事項であれば、図 22 の注として記載する。	HV 及び D は要求事項であれば、図 22 の注として記載する。	修正案に同意します。 記号説明として記載するように致します。（上付き／下付き文字を使用します） 記号説明 D : ピストン先端 φ1.8+0/-0.05 (φ4.0+0/-0.05) 硬さ HV500 以上
渋谷隆 7	601	9.6.2.2		ed	括弧は省略しても意味が通じるように用いる。	括弧を外す。	このままでお願いします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2023.6.9	規格番号: <b>C60068-2-21</b>	プロジェクト:
--------------	--------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
	618					対応国際規格の次回改訂時に日本から修正を提案 願います。	対応国際規格通りです。 提案について検討させてい たいただきます。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。